



未来を彩る岩手の芸術 みんなで刻もう新たな歴史

第70回

# 岩手芸術祭 2017

総合フェスティバル

2017年10月7日 土

開場12:35 開演13:00 ◆岩手県民会館 大ホール

Design by Yuko Sasaki

## 岩手県民の歌 (昭和39年制定)

作詞: 田原耕二  
補作詞: 岩手県民の歌審査委員会  
作編曲: 中田喜直

しらくもの うかぶ はてまで  
 はろぼろと 蒼き(あおき) 国原(くにばら)  
 かぎりなき 未来を こめて  
 岩手 岩手 ふるさと 岩手  
 とこしえに 若き 大地よ  
 みちのくの 文化 かぐわし  
 金色(こんじき)に 咲ける この国  
 誇らかに いまに 伝えて  
 岩手 岩手 ふるさと 岩手  
 胸ふかく 想う その名よ  
 山なみの きわも さやかに  
 染めなせる あかねの 光  
 かがやける 明日を 徴(しる)して  
 岩手 岩手 ふるさと 岩手  
 大空に 描く 望みよ

## ごあいさつ



一般社団法人岩手県芸術文化協会  
第70回岩手芸術祭実行委員会

会長 柴田和子

芸術の秋を彩る岩手芸術祭が開幕いたしました。

岩手芸術祭は、昭和22年に第1回が開催されて以来これまで回を重ね、今年第70回目の節目を迎えることとなりました。これもひとえに県民の皆様の御理解、御支援の賜と深く感謝申し上げます。

今年度は第70回の岩手芸術祭を盛り上げるため、岩手芸術祭総合フェスティバルと併せて二日間にわたる第1回芸術体験イベントを開催するとともに、岩手芸術祭の県民総参加的な盛り上げを図るため、岩手芸術祭総合フェスティバルを地方でも開催することとしております。

今年の総合フェスティバルは、70回目の節目にふさわしいプログラムで構成し、県内の優れた文化芸術団体の多種多様なステージが繰り広げられます。

どうか最後までごゆっくりご鑑賞いただき、温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本事業の開催にあたり、御尽力くださいました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、ご挨拶いたします。

### 主催

岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手日报社  
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手

### 後援

盛岡市 NHK盛岡放送局

### 協力

運営補助 ◆ 岩手女子高等学校  
記録撮影 ◆ 岩手県写真連盟

### 企画

岩手芸術祭総合フェスティバル企画運営委員会

構成・演出 上田 次郎  
プロデューサー 藤川 智美  
舞台監督 近藤 英一  
演出補佐 大沼 まゆみ  
舞台美術

岩手芸術祭美術展現代美術部門  
小笠原 卓雄

### 問い合わせ先

岩手県芸術文化協会 TEL 019-626-1202

携帯電話の電源はお切りになるか、マナーモードにお切り替えてください。  
主催者の許可のない撮影・録音は禁止させて頂いております。  
大ホール客席での飲食は禁止となります。

# プログラム

司 会：甲斐谷 望（IBC岩手放送アナウンサー）  
アシスタント：奥山 あかり（盛岡白百合学園高等学校3年）  
第41回全国高等学校総合文化祭放送部門アナウンス部門審査員特別賞

## ▼「国指定重要無形民俗文化財」 毛越寺

- 演 目／毛越寺の延年 「老女」  
「老女」は白髪に老女面をつけ、まず仏前において礼拝し、自らの白髪をくしけずる真似をし、鈴と中啓をとり百歳の老女たる姿を示す舞。
- 出演者／藤里 明久（毛越寺貫主）

## ▼ 創作ダンス 金田尚子舞踊研究所 岩手県洋舞協会

- 演 目／「月の声」  
百歳の老女から現代のみずみずしい少女の踊りへと「命のリレー」が繋がっていく。
- 出演者／関根 佳子（岩手大学教育学部附属小学校6年）  
平成29年7月に開催された「第50回埼玉全国舞踊コンクール・モダンダンス児童の部」第2位。

## ▼「金山太鼓・モダンダンス」 佐比内金山太鼓保存会 金田尚子舞踊研究所 岩手県洋舞協会

- 演目1／金山太鼓「灼熱」  
紫波町佐比内は、かつて日本有数の金山として知られていた。「歴史を太鼓にのせて活ある里づくり」をテーマに結成された佐比内金山太鼓。ハチの先に炎が灯り激しさを増してゆく代表曲「灼熱」。命の躍動が伝わる。  
演目2／大太鼓とモダンダンスのコラボレーション

- 出演者  
◆佐比内金山太鼓保存会  
毎年8月に開催される金山祭りでは子供からシルバーまで230余名の太鼓公演が行われる。地域に根差した伝承活動に取り組んでいる。  
◆金田尚子舞踊研究所  
杉村 香菜（岩手医科大学薬学部5年） 関根 和子（盛岡白百合学園高等学校3年）  
村井七海子（盛岡白百合学園高等学校2年） 柏崎 郁乃（盛岡第一高等学校1年）  
高橋 綾乃（不来方高等学校1年） 長澤ほのか（盛岡第二高等学校1年）  
三浦 千明（盛岡第一高等学校1年）

## ▼「ジャズダンス・男子新体操」 スタジオDANCE ONE 岩手県洋舞協会 新☆男塾

- 演 目／「命は未来へ」  
現代社会、ユニークなパフォーマンスが躍動する。実績を積んできたスタジオDANCE ONEに盛岡市立高等学校新体操部OBによる「新☆男塾」がリンクする。命は未来を目指す。
- 出演者  
◆スタジオ DANCE ONE  
及川 史子 金田 樹奈 菅野 祐美 関 清花  
高萩 由衣 辻本 爽羽 ブラネン新那 水野 順子  
室岡 春香 本宮佳央理 矢内えり子  
◆新☆男塾（盛岡市立高等学校新体操部OB）  
小笠原京哉 片方 郁太 小野寺 良

## ▼「第70回岩手芸術祭記念詩」 岩手県詩人クラブ

- 作 者／岩手県詩人クラブ 松崎みき子  
今年70回目を迎えた岩手芸術祭、多くの先人たちが道を開いてきた。その道を受け継ぎ次代へと渡して行く。新しい表現はその中で生まれ育ってきた。そうした「道」をテーマに記念詩は作られた。
- 朗 読／谷藤 遥（盛岡第一高等学校3年）  
平成29年度NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会・朗読部門最優秀賞受賞。

- ヴァイオリン演奏／高橋 柊里

## ▼「感謝のセレモニー」

長年、芸術文化に尽力されてきた方々への感謝。

- 受賞者の紹介と感謝状贈呈
- 「芸術祭テーマ」優秀賞表彰
- 主催者挨拶 岩手芸術祭実行委員会 会長 柴田 和子
- 祝辞 岩手県知事 達増 拓也

感謝状受賞のみなさん	
<美術部門>	
●洋画部門／小田原光晴さん	●書道部門／佐藤 平泉さん
●写真部門／角田 良一さん	●デザイン部門／吉田 康則さん
<舞台等部門>	
●演劇部門／田島 俊子さん	●邦楽部門／杵屋 寿慧さん
●茶道部門／武田 守榮さん	●華道部門／昆 啓雅さん
●合唱部門／小濱 和子さん	●三曲部門／松坂 尚子さん
●民謡部門／三浦 壽男さん	
<文芸部門>	
●短歌部門／佐藤 怡當さん	●俳句部門／沼田 和子さん

芸術祭テーマ優秀作品	
「未来を彩る 岩手の芸術 みんなで刻もう 新たな歴史」	作者 津志田勇孝さん（八幡平市）
協力／盛岡第四高等学校音楽部	

## ▼「芸術体験イベント写真集」 岩手県写真連盟

当日行われた「第1回芸術体験イベント」のスナップ写真を投影して紹介する。

## ▼「5歳児たちのヴァイオリン演奏」 葛巻町5歳児

- 曲 目／「チューリップ」
- 出演者／葛巻町5歳児16名  
スプリングハーモニージュニア13名  
モウモウブラザーズ  
葛巻町は音感教育や情操教育を養うため、平成26年から5歳児を対象にヴァイオリン学習を行っている。その一端を紹介する。応援として県弦楽研究会のスプリングハーモニージュニアが駆け付けた。引率は葛巻町のモウモウブラザーズ。

## ▼「声楽」 竹内 菜緒

- 曲目1／「ふるさとの」平井康三郎作曲  
曲目2／「エジプトのジュリオチェザーレより このように、ただ1日のうちに～ この胸に息のある限り」ヘンデル作曲  
曲目3／「ラ・ボエームより 私が街を歩くと」ブッチーニ作曲
- 出演者／竹内 菜緒（国立音楽大学音楽学部、演奏・創作学科声楽専修1年）  
第70回全日本学生音楽コンクール声楽部門高校の部第1位。今年春の選抜高校野球大会（甲子園）で「君が代」を独唱する。澤川恵美、福井敬氏に師事。
- 伴奏者／千葉 流楓（東京音楽大学在学）

## ▼「合唱」 岩手県立盛岡第四高等学校音楽部

- 曲目1／懐かしのあの曲メドレー  
曲目2／水のこころ 高田 敏子／詩 平田 聖子／作曲  
曲目3／混声合唱のための《八重山・宮古の三つの島唄》から「狩俣めくいちゃ」沖縄民謡 松下 耕／作曲

- 出演者／岩手県立盛岡第四高等学校音楽部38名  
指揮／佐藤ふみ子 ピアノ伴奏／今 綺音  
創部は学校創立と同時で今年54年目。平成26年度から今年度まで全日本合唱コンクール全国大会4年連続出場。声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場2回。全国高総文祭岩手代表1回。その他TV出演イベントなど多数出演。一昨年は葉加瀬太郎さんとの共演が話題になった。

## ▼「弦楽による南部民謡」 岩手県民謡協会 岩手県管弦楽連盟

- 南部牛追唄／山上 衛  
日本民謡ヤングフェスティバル2015年全国大会グランプリ  
第28回南部牛追唄全国大会優勝
- 外山節／菊池ひろみ  
昭和56年 公益財団法人日本民謡協会民謡民舞全国大会内閣総理大臣賞受賞  
昭和59年 クボタ民謡お国めぐり初代アシスタント
- 弦 楽／いわてフィルハーモニー・オーケストラメンバーによる弦楽四重奏  
ヴァイオリン 山口あうい 齊藤 弦  
ヴィオラ 藤澤 英子  
チェロ 三浦 祥子

## ▼「国指定重要無形民俗文化財 岳神楽・ジャズダンス」 岳神楽保存会 スタジオDANCE ONE 岩手県洋舞協会 新☆男塾 盛岡市立高等学校男子新体操部

- 演目1／天降（あまくだり）  
記紀の天孫降臨に由来する。猿田彦は鼻の高い赤の天狗面を着け、激しい各様の四方鎮めを舞う。やがて天孫の神々の先達、紐女（うずめ）が出て問答となる。うずめは天孫が天降る道に何故に立ちふさがるやと尋ねる。猿田彦は神力の悟りでお迎えに参じた、いざご案内をと答える。かくて天孫は無事に天降りが出来たという内容。今でも祭礼の神輿渡御に天狗とおかめが先立ちするのはこれに由来する。  
演目2／神楽囃子とジャズダンスのコラボレーション
- 出演者  
◆岳神楽保存会  
花巻市大迫地区に伝わる神楽。山伏修験者が演じたものが伝承されたもので、早池峰神社の例祭に奉納される。同地区には大償神楽もあり、二つとも国指定の重要無形民俗文化財に指定されている。  
◆スタジオ DANCE ONE  
◆新☆男塾  
◆盛岡市立高等学校男子新体操部（3年生）  
熊谷 圭悟 吉田 朋起 大坪 宙斗 千葉 陸

## ▼「盛岡吹奏楽・盛岡山車太鼓」 パシフィック・ブラス・オルケスタ 盛岡八幡町い組

- 曲 目／鼓響…故郷  
しんしんと降る雪、ゆっくりとやってくる東北特有の遅い春の喜び、そして短い夏に熱狂する夏祭り。吹奏楽に和太鼓が交わり故郷の情景が描かれる。
- 演奏者  
◆パシフィック・ブラス・オルケスタ  
指揮者／佐々木 駿  
平成5年に5名の団員で結成された吹奏楽団。現在の団員は60名を超える。全日本吹奏楽コンクール東北大会に7年連続で出場している。今年全日本アンサンブルコンテストで木管三重奏が金賞を受賞。  
◆盛岡山車 盛岡八幡町い組  
江戸時代に南部火消の一つとして結成され、盛岡市八幡町を拠点に活動している。盛岡八幡宮の例大祭は9月13～16日に開催され、華麗な山車が賑やかな囃子と共に町中を練り歩く。

## ▼フィナーレ「岩手県民の歌」 全員 作詞／田原 耕二 補作詞／岩手県民の歌審査委員会 作編曲／中田 喜直

- 指揮者／佐々木 駿（合唱指揮・合唱指導／太田代政男）
- 伴 奏／パシフィック・ブラス・オルケスタ

\*本日の総合フェスティバルの様子は11月25日(土)午後1時よりIBCテレビで放送されます。